広報蕨　八九〇号　令和六年九月一日発行　毎月一回発行　印刷・㈱秀飯舎

笑顔でガッツポーズする和田さん

輝いてます ひと

全国ジュニアオリンピック競泳標準記録突破

和田（わだ） あかり さん

夢はオリンピック選手

中央東小学校の5年生、和田あかりさん（10歳・錦町1丁目）が、競泳の50㍍自由形と200㍍フリーリレーの2種目で全国ジュニアオリンピック大会の標準記録を突破しました。

1歳半で水泳を始め、小学2年生でルネサンス蕨の選手育成コースへ。速く泳げるようになるのが楽しくて、夢中になって練習に励みました。辛い練習のときも、水泳を辞めたいと思ったことはありません。好きなことにはとことん集中できるのが強みです。

順調にタイムを縮めていた和田さんですが、年齢区分が上がるにつれ厳しくなる標準記録がプレッシャーとなり、良い記録が出せない大会が続きました。練習通りの泳ぎができず、焦りや悔しさが募ります。そこで、本番で力を発揮できるよう1年間さまざまな大会に出場し、経験を積むことに。また、タイムロスになる息継ぎを減らす練習に加え、安定したフォームを保つために自宅での筋力トレーニングにも取り組み、体幹を鍛えました。

そして迎えた6月の県ジュニア選抜大会の50㍍自由形。今までの努力を信じ「必ず突破する」と強い気持ちで臨んだ和田さん。自分の泳ぎだけに集中して無我夢中で泳ぎ、みごと自己ベストの29秒86で、29秒90の標準記録を切りました。その勢いは止まらず、同月に行われた記録会での200㍍フリーリレーではエースとしてアンカーを任されると、前の4選手を次々に追い抜き、堂々の1位でゴール。記録達成の瞬間、リレーメンバーと歓声を上げて喜びました。

「憧れの池江璃花子（いけえりかこ）選手のように、オリンピックで活躍する選手になりたいです」と話す和田さん。キラキラした瞳は、世界で活躍する未来を見据えて輝いています。

今月の河鍋暁斎記念美術館

祝100回

天才絵師の作品 蕨にあり

—No.100—

本図は暁斎の娘・暁翠（きょうすい）の作品で、『伊勢物語』の一場面が描かれています。

京の都を離れ、隅田川に行きついた平安時代の歌人・在原業平（ありわらのなりひら）の一行が、見慣れぬ鳥の名前を渡守（わたしもり）に問うたところ「都鳥（みやこどり）」と答えたので、業平が都鳥に思い人の安否を尋ねる歌を詠み、皆が涙したという「東下（あずまくだ）り」の最終場面です。右に杉の巨木を、中央に船上の業平を、その目線の先に都鳥と桜を配し、奥には木立や民家を描いて、見る人の視線を誘導するよう、緻密に構成されています。

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁翠筆
「業平の東下り」
絹本墨画彩色　軸装

河鍋暁斎記念美術館　開催中

企画展「暁斎・暁翠　風景画」展
同時開催　特別展「立原位貫（たちはらいぬき）　復刻版画」展

開　館＝午前10時～午後４時
ところ＝南町４-36-４
休　館＝火・木曜日、26日～末日
入館料＝一般600円　高校生・大学生500円
小・中学生300円　65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください
詳　細＝同館（☎441・9780）

詳しい内容は館ホームページを御覧ください

yosai Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治９年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勧業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。

河鍋（かわなべ） 暁斎（きょうさい）
天保２年（1831）
～明治22年（1889）

広報紙に載っている写真を希望者に差し上げます（一部を除く）　秘書広報課広報広聴係までご連絡ください